

その時に抱きとめてくれるひとがいますか



北野武監督作品

A FILM Directed By Takeshi Kitano

HANA-BI

BEAT Takeshi Kayoko KISHIHIRO MICHIE TERASHIMA Ren Ohsaki SUGIYAMA Susumu TERAJIMA

Written by Takeshi Kitano ANNA O Music by Joe Hisaishi

BANDAI VISUAL, TELEVISION TOKYO CHANNEL 12, TOKYO FM and OFFICE KITANO PRESENTS

第54回ベネチア国際映画祭金獅子賞受賞

ビートたけし 岸本加世子 大杉漣 寺島進

脚本:北野武 音楽監督:久石譲

製作:バンダイビジュアル・テレビ東京・TOKYO FM/オフィス北野 配給:オフィス北野・日本ヘラルド映画 プロデューサー:森昌行・柘植靖司・吉田多喜男

協力プロデューサー:石川博・古川一博 撮影:山本英夫 照明:高麗章 美術:横田典宏 録音:堀内昭治 編集:北野武・太田福則 記録:中田秀子 助監督:清水浩 キッズテイク:吉川威史 製作:小宮慎二 製作管理:山崎義人

[URL] <http://www.trans.or.jp/OFFICE-KITANO>

ベネチア発の“KITANO SHOCK”が、 トロント、釜山、ロンドン、パリ、ローマ、ニューヨーク を經由して日本へ。

「第54回ベネチア国際映画祭の金獅子賞(グランプリ)は『HANA-BI』!、この作品を私たちは全員一致で選定した」
……審査委員長ジェーン・カンピオンの講評が、プレスセンターにわき起こる拍手と喚声にかき消されて聞き取れない。
その熱狂を受けて、RAI(イタリア国营テレビ局)が『ソナチネ』を緊急放映し、翌朝の欧米メディアは一斉に絶賛の記事を掲載した。

「キタノ・ショックがベネチアを襲った」(伊・イル・ジオルナーレ紙)、
有力紙コリエレ・デラ・セーラは「最も秀逸。他の作品が受賞したら私はハラキリしただろう」という著名評論家のコメントを載せ、
10分間のスタンディング・オベーションが続いた公式上映の翌朝、

早くも仏・ルモンド紙が「金獅子賞確定」とぶちあげた通りの展開となった。

英国からパリへ、イタリアへ、確実に数を増した“キタニスト”(北野武ファン)が、北野武を一つの頂点へ押し上げたのだ。

同時にそれは、日本映画にとって黒沢明が『羅生門』(51)で、稲垣浩が『無法松の一生』(58)で受賞して以来の、

39年ぶり、3人目という快挙が達成された瞬間でもあった。

『HANA-BI』は、この後、トロント、釜山、ロンドン、テサロニキ、ローマ、ベルリン、ニューヨークを巡って、
1998年1月24日、日本に凱旋する。



「引き受ける」こと、「ゆだねる」こと。

主演はビートたけし。「ソナチネ」以来4年ぶりの主演だが、今回彼が演じる刑事、西はただ走り続けてきた男。そんな彼が突然のこどもの死や不治の病に冒されていく妻(岸本加世子)を目の当たりにしてふと立ち止まってみると、走るこの意味さえわからなくなっている自分に気付く。彼の心のうちで、少しずつ高まっていた奇立ちを爆発させた「発火点」は、同僚、堀部(大杉漣)の事故だった。堀部の好意に甘えて西が妻を病院に見舞ったその日に、堀部は殺人犯の銃撃を受けてしまったのだ……近しい者が次々に奪われていき、どれにも自分が深く関わっていることに西の心はさいなまれる。一命を取り止めながら車椅子の生活を送る堀部も、犯人との銃撃戦で盾となって殉職した部下も、自分の身代わりとなったのだ。生きる喜びを絵を描くことに見出した堀部に画材を送るために、部下の妻を援助するために、そして妻との残り少ない生活を共にするために、西はヤクザから金を借りることになる。

西と妻を中心に積み重ねられて行く寡黙なシーンが、青い海と白い砂浜のエンディングに集約されて行く。愛する者のすべてを、生も死も、すべてをひっくり返して引き受けることを決意した男と、そんな男を信じて、自分をゆだねることを心決めた女……ラストの「たったふたことこのせりふ」が心に刻みつけられる。

「キタノ・ブルー」を引き立てる久石譲のアカースティックな音楽。

欧米のジャーナリストが、演出と並べて口々に称えたのは「キタノ・ブルー」の色調。その透明感を支え、タイトルに込められた「生と死」のテーマを引き立てるのが久石譲の音楽だ。繊細で叙情詩のようなメロディをアカースティックなサウンドで、映像とのコラボレーションを見事に実現している(サントラ盤はポリドールから98年1月発売予定)。

監督・脚本・編集・挿入画:北野武 音楽監督:久石譲(ポリドール) 出演:ビートたけし・岸本加世子・大杉漣・寺島進

98年1月24日(土)より 待望のロードショー!

前売鑑賞券好評発売中!

一般¥1,500(当日一般¥1,800の処)

チケットぴあ、ローソン、市内主要プレイガイドにて発売中

梅田スカイビルタワーイースト4F 06-440-5977

梅田 ガーデンシネマ

10:20 12:25 2:30 4:35 6:40 8:45

アメリカ村 Big step 4F 06-440-1460

心斎橋 パラダイスシネマ

10:20 12:25 2:30 4:35 6:40 8:45

※パラダイスシネマは2/17、2/18は休館日